

学校長あいさつ～校歌合唱～

赤塚新町小学校着任2年目の校長：藤森重臣です。

昨年度の入学式で、驚いたことが一つあります。それは、式次第に「校歌合唱」と書かれていたことです。一般的に、校歌は斉唱です。低音部と高音部の2部以上に分かれて歌う曲を合唱と言うので、「校歌斉唱」の間違いではないかと思いましたが。「いいえ、間違いではありません。」と副校長の答えに疑問を抱きつつ実際に聞いてみると、曲の後半部分から掛けあいがあり、確かに二部合唱だったのです。子ども達が当たり前のように二つのパートに分かれて歌う姿に、感動したことを昨日のように覚えています。

平成23年度にあたり、本校の特色を大きく三つ述べさせていただきます。

1、響き合う心の教育

「校歌合唱」で子ども達がハーモニーを大事にして歌声を響かせるように、赤塚新町小学校では、心も響き合う教育を進めています。本校は特別支援学級5組が設置されています。通常学級と5組の子ども達は、鯉のぼり集会や七夕集会・縦割り班のフレンド班活動・給食などで交流活動を日常的に行っています。それらの活動を通して、どんな人にも優しく接する思いやりの心を育て、協力し支え合う心の教育を推進しています。そして、家族的な雰囲気大事にし、協力し合って学習活動にも取り組み、心温まるアットホームな学校をめざしています。

2、子どもが主人公の活動

本校の通常学級は、1学年40人前後という少人数のため、一人一人の子ども達が活躍する場が多く、運動会などでは全員が主人公となって活躍します。上級生は、クラブ活動や委員会などで下級生の模範となり、絵本の読み聞かせや掃除の時間などで、下級生の面倒を見ています。昨年度の学習発表会（舞台発表）では、見ている方々に感動を与える演技と発表を行い、3月の巣立ちの会では、6年生が火炎太鼓を披露し見事な成長ぶりを披露しました。中学校からも新町小の卒業生は、リーダーとして活躍しているという言葉を受けています。

3、地域密着型をめざす学校

何よりも新町小を支えているのは、保護者・地域の方々です。PTAやおやじの会（ジャオクラブ）では、夏のラジオ体操や運動会のお手伝い・親子スポーツ教室など、子ども達のために労を惜しまず協力して頂き、大変ありがたく思っています。また、自治会・町会の方々も、学童擁護員や子ども見守り隊などで街頭に立ち、温かい目で子ども達を見守って頂いております。自治会の夏祭りにも、たくさん子ども達が行く実行委員として参加します。子ども達は、このような恵まれた環境の下で、生き生きとすくすくと育っています。

※今年度も、子ども一人一人に目が行き届く小規模校の特色を最大限に発揮して、教育活動を進めていきます。保護者・地域の皆様、今年度もどうかよろしく願い致します。